

陳 情 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	6 6	受 理 年 月 日	令 和 2 年 6 月 22 日
件 名	コロナ禍における小学校の環境改善		
要 旨	<p>私たちは京都市立藤ノ森小学校5年生の保護者である。昨年度まで1クラス25名、26名、27名の3クラスであったが、今年度から1クラス当たり38名、39名の2クラスという編成になった。この人数は、通常でも教室内がとても過密で、机と机の間隔が非常に狭くぎゅうぎゅう詰め</p> <p>状況である。</p> <p>そのうえ、新型コロナウイルスが世界中に流行し、まだ収束を迎えていない中、3密を避ける（特に2メートル（少なくとも1メートル）は空ける）等が叫ばれている中、1クラスの人数が多すぎることに対して、それとは程遠い環境にたくさんの保護者が大きな不安を抱えている。そのような中で子供たちは日中のほとんどの時間を過ごさなければならない。</p> <p>学校側としても、コロナ対応（衛生面及び学習の後れや一人一人の児童に対する支援）のため人手が必要となるが、現状でも教職員の数が足りず、クラスを二つに分けて授業をしたり、クラス数を増やすこともできないとのことで、対応が非常に難しいと思われる。</p> <p>さらに、予想される第2波、3波に対応するためにも、緊急措置として教職員を増やし、少人数での授業などの早急な改善と対応を要望する。</p> <p>ついては、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校生活でのソーシャルディスタンスの確保</li> <li>2 少人数での授業や活動の実現</li> <li>3 コロナ禍においての子供たちの学習面、精神面の十分なフォロー</li> </ol>		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		